

1/13

二十歳の門出を祝う 城里町成人式

コミュニティセンター城里

平成25年城里町成人式が開催され、新成人(平成4年4月2日～平成5年4月1日生まれ)281人のうち226人が参加しました。

新成人が企画・運営した式典には、町関係者や中学時代の恩師などが参列し、次代を担う若人の門出を祝福しました。

阿久津町長は式辞で、「生まれ育った郷土である城里町に誇りを持ち、若者の柔軟な発想と知恵で、魅力あるまちづくりに協力して欲しい。」と新成人の活躍を願い、新成人代表で実行委員長の小林竜也さんからは「何事にもくじげずに正面から向き合い、多くの人と助け合いながら、一步一步しっかり歩いていきたい」と力強く決意が述べられました。



常北地区



桂地区



七会地区



～ はたちのひとこと ～

★ 成人を迎えた皆さんからのコメントです ★

- 生まれてから20年。たくさんの思い出が今の自分を支えてくれています。今までも、そしてこれから自分に関わる人たちに笑顔が届けられますように。
- 二十歳を迎えて、「心」の部分でも人として成長していきたい。
- 二十歳という節目の年に、精神・肉体共に健康な体で故郷の式に出席できることを嬉しく思います。
- 今まで私を育ててくれた両親、家族、支えてくださった方々へ感謝の気持ちを私らしく伝えられる人になりたい。



1/11

今年1年元気に過ごせますように！！

桂小学校

桂小学校でワーホイ集会が行われました。

ワーホイとは、竹、わら、大豆殻などととも正月飾りや書き初めを焚き上げ、一年の無病息災などを祈る小正月の伝統行事です。

桂小学校のワーホイでは、学区内の区長と錫高野いきいきクラブの協力で用意された高さ約7メートルのやぐらに児童の書き初めを付けて燃やし、「ワーホイ、ワーホイ、今日はどこのワーホイだ！」「今日は桂小学校のワーホイだ！！」と元気に掛け声をかけながら、今年1年の無病息災を祈りました。



◀ワーホイで書き初めを燃やすと、書道が上達（学業が成就）するといわれています。

やぶさめ 小勝地区に伝わる「流鎗馬」

小勝地区の鹿島神社では、毎年1月17日に“流鎗馬”が行われています。

この祭事では、大小あわせて3つの的が用意され、およそ1.5メートル離れたところから、神主と氏子総代が、手作りの弓矢で的を狙います。

30年ほど前までは、農耕用に飼っていた馬にまたがり、神社の参道を駆け抜ける馬の上からの的に向けて矢を放ったそうです。

近隣で行われているものとしては、笠間市の流鎗馬神事が有名ですが、小勝地区においても、その年の五穀豊穡などを祈願する神事として古くから行われてきました。

小勝地区では4つの自治会が毎年交代でこの祭事を執り行っているそうです。



1/13

防災の決意を新たに消防団出初式

コミュニティーセンター城里 駐車場

澄み渡る冬空のもと、新春恒例の「城里町消防団出初式」が開催されました。

城里町消防団は、昨年4月に支団制を廃止し、1町1消防団(17分団、45部)の組織に再編されました。

式典では、約400人の消防団員が分列行進を披露し、消防団活動で功績のあった分団や団員に表彰状や感謝状が贈られました。

塩澤光三団長は、「自らの地域は自らで守るという精神で被害の拡大防止や、地域住民の安心・安全の確保に全力を尽くしてほしい。」と訓示し、団員の士気を高めました。

また、阿久津町長は、「東日本大震災での経験や教訓を踏まえ、消防体制の強化・拡充と、広域的な応援体制の確立に向け、鋭意努力し、町民の防災意識の高揚を図っていきたい。」とさらなる防災体制の充実を誓いました。



1/23

茨城県統計協会総裁表彰を受賞

町統計調査員の小島俊男さん(下古内)と加倉井英彦さん(下古内)は、国や県が実施する統計事業(国勢調査、農林業センサス、茨城県農林業基本調査)に多数従事した功績により、茨城県及び茨城県統計協会が主催する平成24年度茨城県統計功労者表彰式において茨城県統計協会総裁表彰を受賞しました。



▲表彰を受けた小島 俊男さん(写真左)と加倉井 英彦さん(写真右)